

東神戸港への入港船のシップウォッチング(その2)

2022.8.13 事務局長 池田良穂

8月13日に、同じタイトルのレポートをお届けしましたが、その続報です。前報では東神戸港に入港するカーフェリーの姿を撮影するのに最適なスポットとして潮芦屋ビーチを紹介しましたが、その時に撮影した「さんふらわあばー」と「やまと」の姉妹船2隻の入港シーンも撮影したいと思っていたのですが、翌週の土日は雨、そして天気がよくない日が続いて撮影ができずに、約1ヶ月が経過してしまいました。9月になっても秋雨前線による曇天の土日が続きましたが、9月11日の日曜日によりやく快晴となり、その機会がついにやってきました。



7時に潮芦屋ビーチに到着して、600mmの望遠レンズをつけて船の入港を待ちました。この日も最初に姿を現したのは六甲アイランドのコンテナターミナルに入るコンテナ船で、「Green Wave」(シンガポール籍)。後ろに「さんふらわあごーど」が迫っています。



「Green Wave」に続いて、「さんふらわあごーど」が入港してきました。



関門を通過する「さんふらわあごーと」です。



約 30 分後、阪九フェリーの「せつつ」が入港してきました。



阪九フェリーは土日には、朝 8 時半の入港です。8 時過ぎに関門を通過しました。